

# がん地域連携クリティカルパス

国際医療福祉大学大学院

武藤正樹

# がん対策基本法(2006年6月)

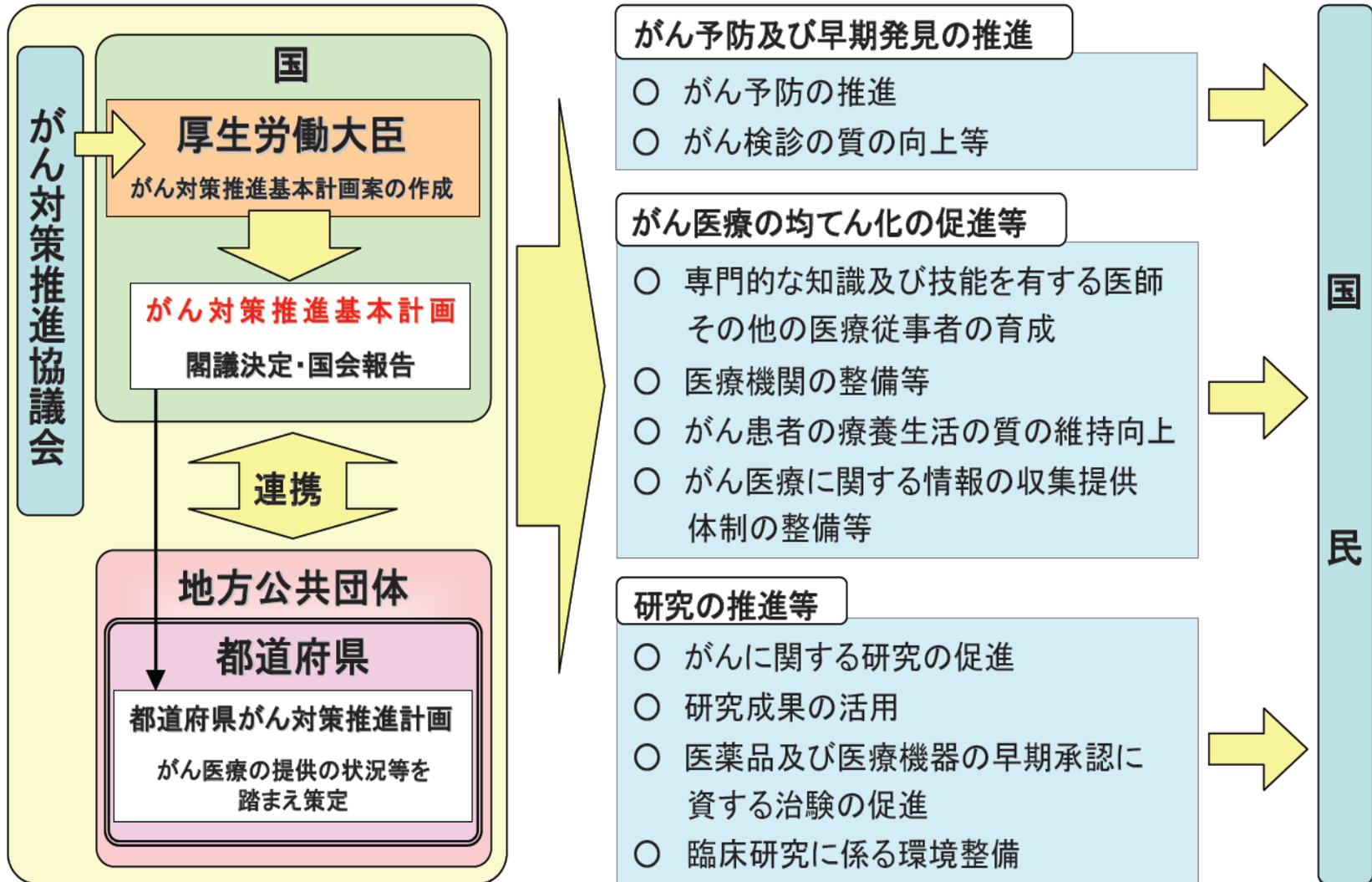
- がん対策基本法
  - がん対策のため、国、自治体の責務を明確にして、厚労省にがん対策推進協議会を設置することを定めた法律
  - 当初、与党自民党と野党民主党の間で調整が手間取り成立が危ぶまれていた
  - 山本孝史議員の自らのがんを告白して行った質問により与野党一致して法案が成立した
  - 米国では1971年ニクソン政権時にナショナルキヤンサーアクトが制定



山本孝史民主党参議院議員  
58歳で胸腺がんのため亡くなる

# がん対策基本法

がん対策を総合的かつ計画的に推進



# がん対策推進基本計画

- 「がん対策推進基本計画」

- 2007年6月閣議決定

- 10年以内にがん死亡率20%減少

- 5年以内にがん検診受診率50%以上を目指す

- 5年以内(2011年10月まで)にすべてのがん診療連携拠点病院で

5大がん(胃、大腸、肺、乳、肝がん)の地域連携クリティカルパスを整備する

# がん診療連携拠点病院制度 47都道府県（351カ所）※H20年2月現在

厚生労働省

協力・支援

都道府県

国立がんセンター



がん対策情報センター



< 拠点病院の役割 >

- 専門的ながん医療の提供等
- 地域のがん医療連携体制の構築
- 情報提供、相談支援の実施

がん医療の  
均てん化

地域連携パス

研修

地域がん診療連携拠点病院  
相談支援センター

情報提供

症例  
相談

地域の医療機関  
(かかりつけ医、在宅療養支援センター等)

診療支援

研修

地域がん診療連携拠点病院  
相談支援センター

地域連携パス

診療  
支援

研修

地域がん診療連携拠点病院  
相談支援センター

情報提供

地域連携パス

# がん連携パス ～谷水班の紹介～



厚生労働科学研究

全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地  
域連携クリティカルパスモデルの開発

(H20-がん臨床-一般-002)

# 全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域 連携クリティカルパスモデルの開発 (H20-がん臨床-一般-002)

## 研究者氏名

谷水正人(研究代表者)

池垣淳一

河村進

佐藤靖郎

住友正幸

田城孝雄

藤也寸志

梨本篤

奈良林至

林昇甫

武藤正樹

望月泉

## 班長協力者

愛媛県がん診療連携協議会メンバ

池谷俊郎(班長協力者)

池田文広(班長協力者)

船田千秋(班長協力者)

新海哲(班長協力者)

若尾文彦(班長協力者)

## 所属

四国がんセンター

兵庫県立がんセンター

四国がんセンター

済生会若草病院

徳島県立中央病院

順天堂大学医学部付属病院

九州がんセンター

新潟県立がんセンター

埼玉医科大学国際医療セン  
ター

大阪市立豊中病院

国際福祉大学三田病院

岩手県立中央病院

前橋赤十字病院

前橋赤十字病院

四国がんセンター

四国がんセンター

国立がんセンター

# 谷水班の地域連携クリティカルパスの作成指針

- 診療ガイドラインに沿って作成する
- 医療機関の機能と役割分担を明記する
- 診断、治療、外来、緩和ケア、在宅、看取りまで
- 拠-病-診-看-在-薬-連携を包含する
- 共同診療計画(連携パス)を各疾患の治療法ごとに作成する
- 連携の意志がある地域の全医療機関が使えるもの
- 連携を説明し同意を得る
- 緊急時対応の取り決めを明記する
- 紙のひな型を提示する。将来的には電子化を見据える
- 連携医療機関と定期的に協議する場を設ける

# 谷水班として作成すべき4点セット

- ①医療機関の機能・役割分担表
- ②共同診療計画表(連携パス)
- ③私のカルテ
- ④医療連携のポスター

# ① 医療機関の機能・役割分担表

機能	専門的ながん診療	かかりつけ医	緩和ケア	居宅
診断	確定診断、精密診断(ステージ診断)、再発時の診断	初期診断、再発時の診断、精査の必要性の判断		
検査	精密(画像、血液)検査、経過観察のための(血液、画像)検査	スクリーニング検査、経過観察のための検査	経過観察のための検査	
治療	縮小手術、内視鏡手術、定型手術、拡大手術、化学療法、術後補助化学療法、術前化学療法、放射線療法、臨床試験、症状緩和治療	術後症状コントロール、専門施設と連携した化学療法、術後補助化学療法の継続、症状緩和治療	症状緩和治療(疼痛、食思不振、倦怠感、呼吸困難等)	担当医による症状コントロール、症状緩和治療の継続
経過観察、対応、ケア	定期観察、かかりつけ医と連携した副作用・合併症の対応	日常の指導・管理、専門施設と連携した副作用・合併症の対応、レスパイト入院、ショートステイ	ホスピスケア、デイホスピス、レスパイト入院	療養の場の提供、デイケア、ショートステイ、レスパイト入院

# ②共同診療計画表(連携パス)

## 胃がん・大腸がんの連携パス

**胃癌・大腸癌StageI術後長期連携パス(医療者用)** \_\_\_\_\_ 様

病院主治医 \_\_\_\_\_ (電話: \_\_\_\_\_ )

診療所名: \_\_\_\_\_ 主治医 \_\_\_\_\_ (電話: \_\_\_\_\_ )

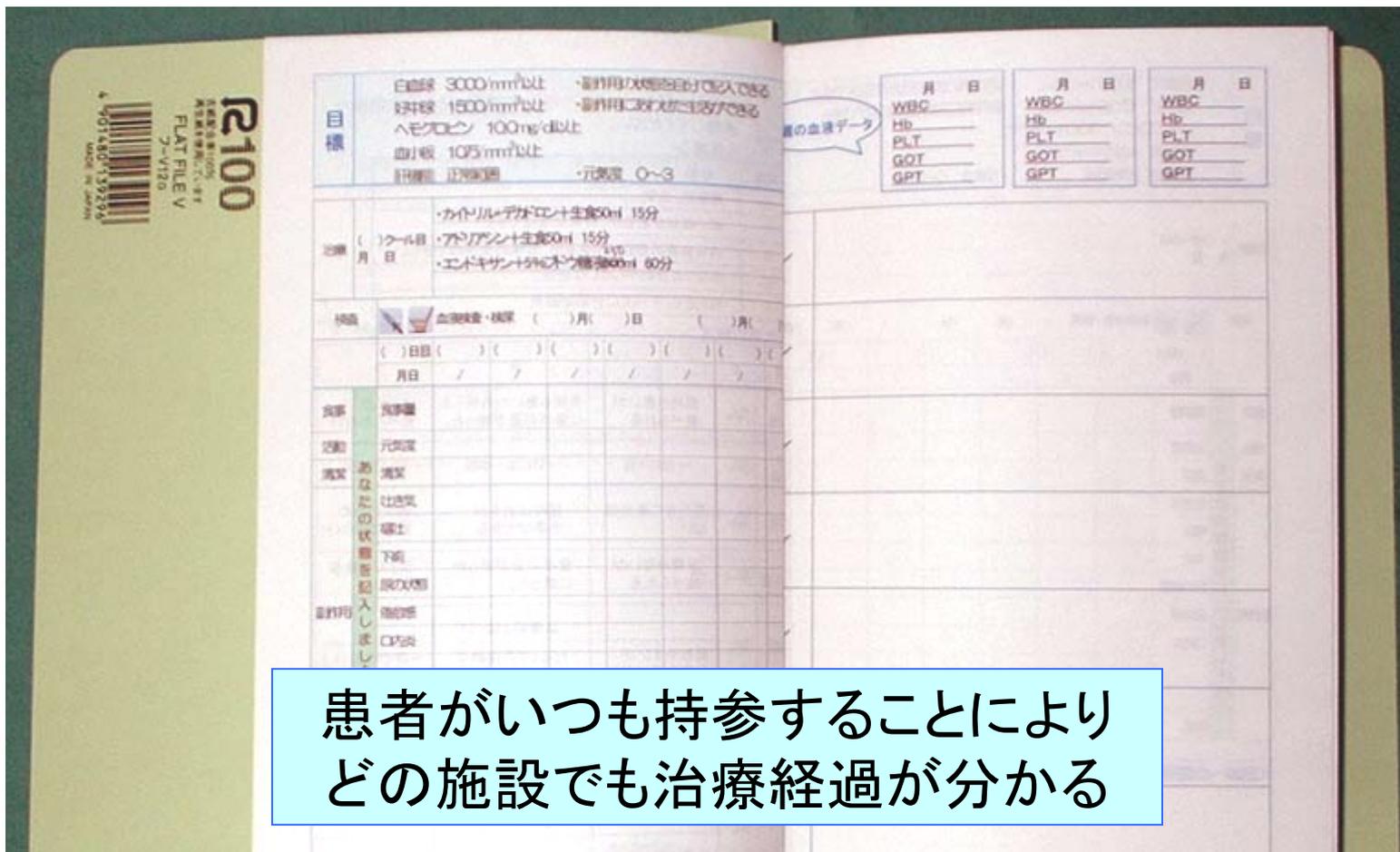
項目	病院	診療所における日常診療						
	退院 /	術院外来 8か月後 /	術院外来 1年後 /	術院外来 1年半後 /	術院外来 2年後 /	術院外来 3年後 /	術院外来 4年後 /	術院外来 5年後 /
連携、連絡	再発等の場合、横浜医療センターに連絡							
教育・指導	<input type="checkbox"/> 患者様用パス説明							
検査・測定	PS	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	血圧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体温	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体重	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	身長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	心電図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	採血	1ヶ月毎 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
腫瘍マーカー	3ヶ月毎 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
採尿	1ヶ月毎 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
検便	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
腹部X線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
腹部超音波	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
内視鏡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
CT	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
MRI	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

**医療者用連携パス**  
術後パスであれば最低限  
必要な診察や検査、化学療法  
パスであれば投与計画  
(間隔など)、標準的な診療  
計画を提示する

# 共同診療計画表作成の方針

- 汎用性を意識したひな型を作成する。
  - オリジナリティを尊重しつつ、先進例を生かす。
  - 標準的治療、診療ガイドラインという観点からのチェック。
  - ひな型の形式を固定するのではなく、要件、項目を決定する。
- 作成するもの
  - オーバービューの共同診療計画表：医療者用、患者用
    - 共同診療計画表に医療機関(と担当者)を記入する。
  - 医療者用シート、患者用シート、自己チェックシート
- 専門的ながん診療を行う医療機関で押さえるポイントと間隔、かかりつけ医等で押さえるポイントと間隔を示す。
- 精査、対応(紹介、移動)が必要と判断されるチェックポイント(タイミング)を示す。
- 多職種チーム活動の視点を入れる(薬剤管理(薬剤師の視点)、看護・療養管理(看護師の視点)等)。

# ③私のカルテ(患者日誌)



患者がいつも持参することにより  
どの施設でも治療経過が分かる

患者用連携パス

# 私のカルテ

- 地域連携パスの説明書・同意書
- 決定した連携先医療機関の一覧
- 知っておきたい私の診療情報
- 患者用連携パス
- 自己チェックシート
- おくすり手帳、副作用の説明書

# 外来化学療法(TS1)の患者用連携パス

**TS-1胃癌術後補助化学療法および検査スケジュール**

さま

服薬開始日 年 月 日	3カ月後 年 月	6カ月後 年 月	9カ月後 年 月	1年後 年 月	1年 3カ月後 年 月	1年 6カ月後 年 月	1年 9カ月後 年 月	2年後 年 月	2年 6カ月後 年 月	3年後 年 月	3年 6カ月後 年 月	4年後 年 月	4年 6カ月後 年 月	5年後 年 月			
血液検査 腫瘍マーカー 	血液検査 腹部CT 腫瘍マーカー 	血液検査 腹部CT 腫瘍マーカー 	血液検査 腹部CT 腫瘍マーカー 	血液検査 腹部CT 腫瘍マーカー 内視鏡 	腹部CT	腹部CT	腹部CT	腹部CT 内視鏡	腹部CT	腹部CT 内視鏡	腹部CT	腹部CT 内視鏡	腹部CT	腹部CT 内視鏡			
<b>函館五稜郭病院</b> 薬物 (TS-1) 治療  服薬日誌 服薬指導があります 副作用についての 説明があります 					 <p>気になる症状は主治医に 伝えてください。</p>												
					6カ月後	9カ月後	1年後	1年 3カ月後	1年 6カ月後	1年 9カ月後	2年後	2年 6カ月後	3年後	3年 6カ月後	4年後	4年 6カ月後	5年後
					2週間毎に受診				1カ月毎に受診								
					血液検査 				<3カ月毎> 血液検査 (腫瘍マーカー)								
					薬物 (TS-1) 治療  服薬日誌 				気になる症状は主治医に 伝えてください。								
<b>函館五稜郭病院</b> 連絡先： 主治医：					診療所名： 連絡先： 主治医：												

【図2 TS-1による胃癌術後補助化学療法における地域連携パス (患者用)】

# 私のカルテ（服薬記録）

## 服薬記録

診察時には、この手帳を担当の医師または薬剤師に見せましょう。



氏名

有害事象（自覚症状の早期発見役立つ。）

電話番号

担当医師名

本資料は製薬員試験のための資料ではありません。 第0版 2014年8月発行

提供：  大橋薬品工業株式会社  
http://www.taho.co.jp/

### < 服薬記録 > 記入例

	日		月		火		水		木		金		土	
	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕
服薬期間 (予定)	2月 / 日 ~ 2月 28日													
服薬数			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
症状														
休薬期間 (予定)	3月 / 日 ~ 3月 4日													
服薬数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
症状														⑨
日付	14		15		16		17		18		19		20	
服薬数	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
症状	⑨		⑨		⑨		⑨		⑨		⑨		⑨	⑧
日付	21		22		23		24		25		26		27	
服薬数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
症状							⑦							
日付	28		31		2		3		4		5		6	
服薬数	2	2	2	×										
症状														
日付	7													
服薬数														
症状														

カプセルの種類  
     
 1日(2)カプセル×2回

変更があった場合 (2月16日)

カプセルの種類  
     
 1日(2)カプセル×2回

#### 記入方法

- 日付けを入れ、飲んだ薬の数を服薬数の欄に記入し、調子が悪かったり、飲み忘れて飲まなかった時は服薬数の欄に×印を付けてください。(飲み忘れても絶対に2回分を1度に飲まないでください。)
- 休薬期間には斜線、受診日には○印をつけておきましょう。

#### この薬以外の治療薬

月	日	~	月	日
月	日	~	月	日
月	日	~	月	日

#### メモ

上記以外の症状や気になることなどをメモしておきましょう。

2/13 口内炎ができた  
 2/14 朝朝食み忘れ  
 2/15 診察、口内炎のための薬かわる (自カセル)  
 2/20 午後下痢1回  
 2/24 少しはき気があった 3/1 朝の服用

#### 症状

次のような症状の番号を記載しておきましょう。

- ① のどの痛み、発熱
- ② 出血(あざができる・紫色・赤色)
- ③ めまい、たちくらみ
- ④ からだがだるい
- ⑤ しびれ、舌のもつれ、歩行時のふらつき、物忘れ
- ⑥ 息切れ、せき、発熱あるいはかぜのような症状
- ⑦ 吐きけ、食欲がない
- ⑧ 下痢、腹痛、血便
- ⑨ 口内炎
- ⑩ 口や目の結膜のただれ
- ⑪ 目の充血、痛み
- ⑫ 涙が多く出る、目のかすみ、目がかわく
- ⑬ 目や皮膚が黄色い
- ⑭ 膝や手足などがむくむ
- ⑮ 尿量が減る、血尿
- ⑯ にどしがわかりにくい
- ⑰ 発熱、かゆみ、色澤沈着、手足の皮膚炎
- ⑱ 手足に力が入らない、筋肉が痛い

自覚症状の番号を記入

- ① のどの痛み、発熱
- ② 出血(あざができる・紫色・赤色)
- ③ めまい、たちくらみ
- ④ からだがだるい
- ⑤ しびれ、舌のもつれ、歩行時のふらつき、物忘れ
- ⑥ 息切れ、せき、発熱あるいはかぜのような症状
- ⑦ 吐きけ、食欲がない
- ⑧ 下痢、腹痛、血便
- ⑨ 口内炎
- ⑩ 口や目の結膜のただれ
- ⑪ 目の充血、痛み
- ⑫ 涙が多く出る、目のかすみ、目がかわく
- ⑬ 目や皮膚が黄色い
- ⑭ 膝や手足などがむくむ
- ⑮ 尿量が減る、血尿
- ⑯ にどしがわかりにくい
- ⑰ 発熱、かゆみ、色澤沈着、手足の皮膚炎
- ⑱ 手足に力が入らない、筋肉が痛い

# ④医療連携ポスター

安心と信頼を支える医療の連携

がん診療連携拠点病院と地域医療機関は連携してあなたの療養を支えます

私のカルテを持ちましょう





# がん診療の地域連携に係る 診療報酬案

# がん診療連携パス加算

- がん対策推進基本計画において、がん医療の個別目標に「在宅医療」が掲げられ、取り組むべき施策として、「地域連携クリティカルパスの活用等や在宅医療のモデルの紹介等により、各地域の特性を踏まえ、在宅医療が実施できる体制を計画的に整備していく」とされている。

# がん診療の地域連携に係る診療報酬案

新 ①地域連携がん診療計画管理料1  
①地域連携がん診療計画管理料2

\* 1作成する計画には、計画管理病院と  
外来診療所との共同診療計画表、患者用  
診療計画表及びが依頼診療所が計画管理病院  
に対して送付する報告書フォーマットを含む

計画管理病院



拠点病院

①計画 \* 1作成  
①情報提供



退院後の外来医療も  
しくは在宅医療を  
担うかかりつけ医



在宅外来診療所

既 ③退院時共同指導料300点

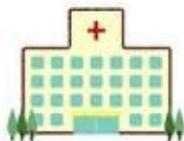
③指導



入院  
患者

③共同指導

既③退院時共同指導料  
300点



拠点病院以外

通院中の  
患者

④経過報告



在宅外来診療所以外

\* 2 少なくとも最低3カ月に1回、または  
月1回を限度として、全身状態や診療経過等  
につき患者の経過報告書を作成し、計画管理病  
院に対して送付

新 地域連携がん診療経過報告料 \* 2

# がん診療の地域連携に係る診療報酬について(施設基準)案

計画管理病院



基本的分担機能  
専門的ながん診療  
(確定診断、精密検査、手術等)

退院後の外来医療もしくは在宅医療を担う  
かりつけ医等



基本的分担機能  
経過観察のための検査、  
術後症状コントロール等



## がん地域連携診療計画管理料1

①がん診療連携拠点病院またはそれに準拠すると都道府県が指定した病院

## がん地域連携診療計画管理料2

- ①上記以外の病院で平均在院日数17日以下の病院
- ②医療計画に記載
- ③地域連携クリティカルパスを地方社会保険事務所に提出
- ④定期的な会合

## 地域連携がん診療経過報告料

- ①地域連携クリティカルパスを計画管理病院と共有し、あらかじめ地方社会保険事務所に届けていること
- ②定期的な会合

- \* 地域連携パスのひな形は谷水班で作成し、ホームページで順次公開、
- \* がん診療連携拠点病院は、5大がんについては平成23年10月末までに整備すること

# まとめと提言

- がん地域連携クリティカルパスを2011年までに運用しよう
- がん地域連携クリティカルパスの診療報酬評価を実現しよう
- がん地域連携クリティカルパスのIT化を進めよう
- がん地域連携クリティカルパスのデータベース化を進めよう